

# JET STREAM *Forever*

## ③ サン・ジャックの秋 Saint-Jaques

1. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ミスターロンリー</span>	Mr. Lonely(B.Vinton/G.Allan) .....	2:33
2. 美女と野獣	Beauty and The Beast(A.Menken/H.Ashman) .....	3:03
3. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">夜霧のピガール</span>	Pigalle(PSchumid) .....	1:48
4. ムーラン・ルージュの歌	Moulin Rouge(J.Larue/G.Auric) .....	3:00
5. パリの屋根の下	Sous les toites de Paris(R.Moretti) .....	2:16
6. 雪が降る	Tombe la neige(S.Adamo) .....	3:13
7. 小雨降る径	Il pleut sur La Route(H.Himmel) .....	2:49
8. さらば夏の日	Du soleil plein les yeux(F.Lai) .....	2:06
9. ヘッドライト	Lueur dans La Nuit(J.Kosma) .....	3:06
10. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サン・ジャックの秋</span>	SAINT-JAQUES(M.Allen/G.Tailor) .....	1:31
11. 枯葉	Les feuilles mortes(J.Kosma) .....	3:51
12. サン・トワ・マミー	Sans toi mamie(S.Adamo) .....	1:49
13. 愛の休日	Holidays(M.Polnareff) .....	2:33
14. シェリーに口づけ	Tout tout pour ma Cherie(M.Polnareff) .....	3:13
15. 愛のレッスン	La Lecon Particuliere(F.Lai) .....	2:57
16. オー・シャンゼリゼ	Les Champs-Elysees(M.Deighan/M.Wilshaw) .....	2:33
17. 白い恋人たち	13 Jours en France(F.Lai) .....	2:45
18. ふたりの天使	Concerto pour une voix(S.Preux) .....	3:12
19. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">花のかおり</span>	COTE D'ZUR(M.Allen/G.Tailor) .....	1:33
20. ラ・メール	La Mer(C.Trenet) .....	2:46
21. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">夢幻飛行</span>	Midnight Cruise(R.H.Wells) .....	3:57

     ナレーション入り

(CDの取り扱い上のご注意) ●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱って下さい。●ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽く拭き取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。(CDの保管上のご注意) ●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクは使用後、元のケースに入れて保管して下さい。●プラスチックケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

## 城 達也 ナレーション

### ミスターロンリー

遠い地平線が消えて深々とした夜の闇に心を休める時、遙か雲海の上を音もなく流れ去る気流は、たゆみない宇宙の営みを告げています。満天の星をいただく果てしない光の海を、ゆたかに流れ行く風に心を開けば、きらめく星座の物語も聞こえてくる、夜の静寂の何と艶舌のごとくでしょうか。光と影の境に消えて行った遙かな地平線も、臉に浮かんでまいります。

### 夜霧のピガール 〈夜霧〉

静かに降り続いたパリの雨が、日暮れに上がると霧になった。クリッシーの盛り場に赤や青のネオンがにじみ、歩道や建物の濡れた顔が薄紅色に上気している。水銀灯の光をさし入れた街路樹の緑が木の下道を染め、恋人達の散歩が夜霧にひたされている。びっしりと並んだ駐車車の列に、更に割り込もうとする車や、押しのけて出ようとする車のエンジンの音が、盛り場の騒ぎに輪をかけている。濡れた歩道を七色に染めて、どれだけの人を飲み込んだネオンか。人いきれで充電し、更に新しいお客を誘い込み、霧の中で妖しい光を放つ、欲望の胸飾りのように見えたが…。

### サン・ジャックの秋

外套の襟を立てた人の猫背の上のパリの空が暗い。サンジャック通りの坂道を登りながら、石の町が表情を堅くしているのを感じ、人恋しさが公園の落ち葉のように積もる秋が深い。ブルバールのカフェのガラス越しに、行き交う人の姿でも見ようか。藤の背もたれのきしみを聞きながら、鼻先にコーヒカップをもたげて、そのぬくもりの中に全身をひたしてしまふことができれば…。たった今、同じ色の秋を迎えた友がいて、めくり合う心のカードが丁度対になって、いつまでもテーブルの上に積み重ねられていくような、そんな時間がほしくてたまらない。秋が深くなる。

### 花のかおり

空港の建物に、ニース、コート・ダジュールと書いてあって、空色の海と白壁のホテルが、美しく生まれついた娘のように光り輝いている。花の薫りに酔い心地の遊歩道では、渚の玉石の上にタオル一枚で寝そべっている娘が、日ざしの熱烈な抱擁に身を任せているだろう。旅人は、もうここを動かない、などと我を忘れてしまいそうだが、更に山のガラスの町の方へ花の薫りを辿って行くがいい。風雪になめされた石壁の間にも、花の薫りがしみついている町があって、そこで、軽やかな心を抱いて、野へ出ることできる。さながら、朝露に濡れた花畑で、娘たちとともにバケツ一杯の花を摘む人のように…。

### 夢幻飛行

夜間飛行のジェット機の翼に点滅するランプは、速さかるにつれ次第に星のまたたきと区別がつかなくなります。おおくりしてありますこの音楽が、美しくあなたの夢にとけ込んで行きますように…。